

長期的な方策（アユに適した利水運用）の今後の取組方針について

		平成29年度	平成30年度	平成31年度～
長期的な方策	高瀬堰の運用	試験的な運用	試験的な運用(予定)	平成30年度中に検証結果等を考慮し、平成31年度以降の方針を検討する。
	高瀬堰の運用に伴う効果検証調査	国交省・広島市の委託調査	国交省・広島市の委託調査(予定)	
	祇園水門・大芝水門の運用	塩分遡上が取水業務に被害を与える可能性を完全に否定できない。 ⇒ 水門の運用を見送り	未定 (取水業務への影響を考慮した上での検討が必要)	

